

第5章 事業推進への取組

観光振興の施策を、効果的かつ効率的に展開していくためには、大田区にあるさまざまな力を結集するとともに強化し、選択と集中の考え方のもと、その力を適切な箇所に配分していくマネジメントが求められます。区内には、観光振興に関係するさまざまな主体があることから、それらが相互に協力しながら行動していくことで、一層の効果的・効率的な観光振興を図ります。

1. 6つのチカラを結集した大田区観光の推進

大田区観光の推進においては、「企画力・構想力」、「地域魅力編集力」、「発信力」、「事業推進力」、「人材育成力」、「危機管理力」の6つの力を活用します。さらにはそれを結集させ、より一層大きな力とし、観光振興を進めます。

2. 重点計画策定に基づく“選択・集中”による着実な取組の展開

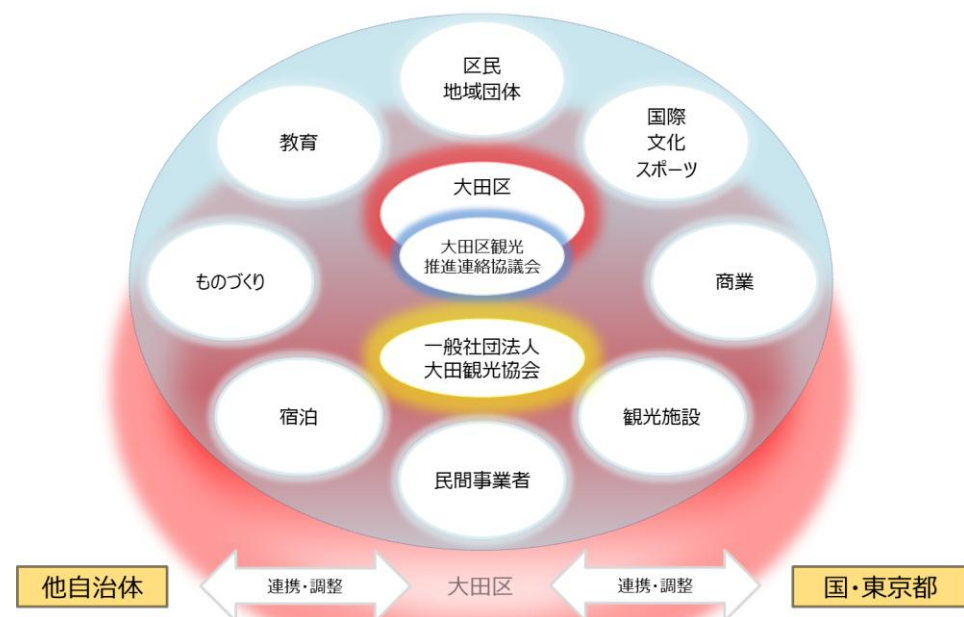
本プランにおいて示した方向性や施策に基づいて、今後、区が主体となって実施する事業については、別途、重点計画を定めて示すこととします。地域ごとに多様な特性を有する大田区において観光振興を効果的に進めていくためには、地域別のマーケティングが必要になります。そのため、“選択と集中”を意識した取組について、事業の重点化やリーディングプロジェクトの設定等を図ります。また、近年の状況を鑑みて、重点計画に定めた事業の進捗や効果を確認するための仕組やフォローアップ体制を構築します。

3. 大田区観光力の推進のための分担・役割と中枢機能の充実

本プランを推進していくためには、区民をはじめ、NPO等団体、観光事業者・交通事業者・宿泊事業者、ものづくり・商業団体、(一社)大田観光協会、区(行政)などの多様な各主体が、その役割分担を適切に行い、相互の連携を図りながら一体となって取り組む必要があります。

大田区観光振興の推進イメージ

～ 大田区版プラットフォーム ～



大田区観光・国際都市部観光課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

電話：03-5744-1322 (直通)

FAX：03-5744-1323

大田区観光振興プラン 2019-2023 概要版

～ 日常にかくれた 非日常に出逢える 観光都市おおた ～

大田区 平成31(2019)年3月



第1章 計画改訂の背景

大田区観光の行く先においては、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が予定されるなど、大きな変化が予想されています。区はこの変化に対応するため、過去10年間の観光振興の取組と成果を振り返り、あわせて今後予想される様々な変化や求められる取組などを見定め、大田区観光振興プラン」を、これからの見据える新たなプランに改訂し、さらなるその振興と推進につなげます。

1. 大田区観光のこれまでの10年の取組

- ▶ 関係者の連携体制の構築
- ▶ 来訪者受入環境の着実な整備
- ▶ ドラマや映画の舞台としての露出とその活用
- ▶ まち歩きプログラムの充実と産業特性を活かした観光魅力の創出
- ▶ 全国に先駆けて開始した特区民泊の展開
- ▶ 来訪する観光客の推移と観光行動の変化および区民・来訪者の意識の変化



2. 大田区観光のこれからに向けて ～オリパラ2020前後の観光動向の見定め

- ▶ 訪日外国人観光客急増への対応
- ▶ シティプロモーションと連携した観光振興
- ▶ 大田区の地域特性を活かした観光の推進力の結集
- ▶ 大田区ファンの獲得と大田観光サポーターの活用
- ▶ 様々な枠組みでの連携の展開
- ▶ 観光危機管理(災害時対応)体制の整備
- ▶ 周辺交通網や都市機能の変化への対応

第2章 大田区観光の意義と観光振興プランの位置づけ

大田区観光を取り巻く環境は今後大きく変わりますが、大田区が観光振興を進める意義は変わらずにあります。今後もこれまで取り組んできた観光施策との一貫性・継続性を意識し、変化する環境に柔軟に対応しながら、効果的な大田区観光の振興を進めます。

プランの計画期間

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
前期2か年計画		後期3か年計画		

プランの性格

